

中三 国語 古文（1）

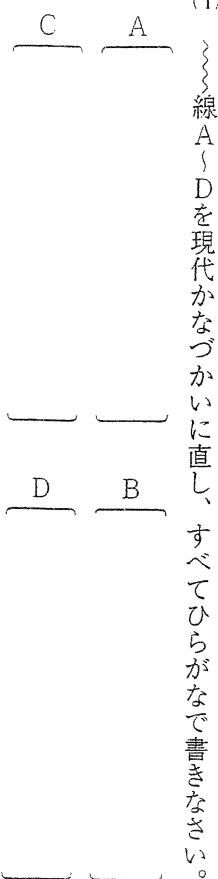
英和があればある 氏名

- 1 次の古文を読んで、あとに問い合わせに答えなさい。

南都に歯取る唐人ありき。ある在家人の、慳貪にして、利養を先とし、事に触れて、あきなひ心のみありて、徳もありけるが、虫の食ひたる歯を取らせむとて、唐人がもとに行きぬ。歯一つ取るには、錢二文に定めたるを、「一文にて取りてたゞ。」と言ふ。⁵ 少分のことなれば、ただも取るべけれども、心様の憎さに、「ふつと、一文にては取らじ。」と言ふ。やや久しく論ずるほどに、おほかた取らざりければ、さらば三文にて、歯二つ取り給へとて、虫も食はぬに良き歯を取り添へて、二つ取らせて、三文取らせつ。心には利分とこそ思ひけめども、疵なき歯を失ひぬる、大きなる損なり。これはまうすに及ばず、大きに愚かなること、をこがましきわざなり。

〔沙石集〕より)

10



線A～Dを現代かなづかいに直し、すべてひらがなで書きなさい。

(1) 線①～③、⑤の主語はだれか。あとから選び、記号で答えなさい。(同じ記号を一度以上用いてもよい)

- (2) 行きぬ [] (3) 言ふ [] (4) 取らせつ []

ア 歯取る唐人 イ ある在家人

(3) 文章中に「ある在家人」の言つた言葉として、「 」でくくるべきところがもう一か所ある。文章中から書き抜きなさい。

(4) 線④「二つ取らせて」の「二つ」とは何と何か。文章中から書き抜きなさい。

- * 唐人：中國から渡来した人。 * 在家人：出家していない人。
 * 慳貪：けちで欲ばかりなこと。
 * 利養：利益をむさぼつて自分の財産を殖やすこと。
 * 徳：財産。 * たべ：「給へ」の少しきだけた言い方。
 * 利分：そ思ひけめども得をしたと思つただろうが。

- (5) この文章を通して、作者が述べようとしているのはどんなことか。最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- A 自分の過ちを決して認めようとしない愚かさ。
 B つまらない意地を張つて人を不快にさせる愚かさ。
 C 目先の利を求めて大切なものを失う愚かさ。
 D 健康を損なうまでその大切さに気づかぬ愚かさ。